

あさなしい

令和3年6月15日(火) No.8

文責：校長 矢田部 瑞穂

応援隊始動!学校カアツプ

昨年度中、皆様のご協力を得て「浅内小学校応援隊」の組織づくりが順調に進み、令和3年度、いよいよその活動を開始しました。今年度は、児童の合い言葉を「挑戦」とし、様々な活動に取り組みさせるだけでなく、「人」との交流をとおして、多様な価値観に触れることも重要視しております。そのことから、応援隊の皆様の存在には大きな意味があります。今年度末には、成果と課題を検証するとともに、再度、応援隊募集も行い、さらなる組織の充実に努めます。4月のPTA総会で説明したとおり、令和4年度には、保護者の皆様・応援隊の皆様・学校が三位一体となる組織を完成させたいと考えておりますので、学校アンケートなどを活用して、皆様の声を学校に届けてくださるようお願いいたします。

応援隊の皆様紹介：第2弾



浅内の歴史講師：
浅野士郎さん



学校運営協議委員：
原田正胤さん



学校運営協議委員：連合自治会会長：大塚義道さん



保健室の先生：
今野裕子さん



保健室の先生：
今野静子さん



浅内小のことは何でも知っている：武田ミチ子さん



花壇のプロ：
今野智賀子さん



読み聞かせのプロ：
澤田敦子さん



読み聞かせのプロ：
信坂みどりさん



読み聞かせのプロ：
大山美文子さん

金曜日は「保健室の先生」

金曜日は佐々木奈葉絵先生が四小勤務のため、応援隊のお二人に「保健室の先生」をお願いしています。元保育士の裕子さんと元看護師の静子さんのペアは子どもたちに安心感を与えます。いつも朗らかに子どもたちを包み込むそのお力に心より感謝しております。



今野静子さん

今野裕子さん



今年度は、応援隊の皆様による「読み聞かせ」です。「読み聞かせ」はこれまででもずっと行っていました。が、「応援隊」による「読み聞かせ」の魅力は、どなたかが欠員になっても、すぐに「文化部」から、代わりの方が読み聞かせに来てくださることです。子どもたちの目の輝きを見ていると、やはり、「プロ」は引きつけ方が違うと感動しました！

P T A 文化部の皆様にはこの時期「会報あさない」編集会議でご難儀をおかけしております。今年度は、担当の唐津教諭が「『応援隊元年』に応援隊の皆様の記事を応援隊の方で編集してみようか。」と提案し、保坂智之推進員より応援隊の皆様にお声がけしたところ、3名の方が会に参加してくださいました。画期的な取り組みではありますがご協力に感謝です。



クラブ活動：R3地域とのつながりや生涯学習としても発展

クラブ活動には、様々な意義がありますが、今年度は、地域の人材（応援隊の皆様）の活用を図り、学校と地域の連携を図ることで児童が友達や地域の人たちのよさに触れ、改めて自分のよさを発見するなど、意図的・主体的に学び合う機会とすることを目的にしています。私は、小学生には特に、広く浅く様々なことに触れさせることで、視野を広げてあげたいと考えています。今後の成長過程において、今回のクラブ活動も、自分に合った道に進む時の選択肢の一つになればいいなと思います。



茶道クラブ：佐々木悦子先生から抹茶の飲み方を学ぶ（右から）ISさん・HKさん・HYさん・IKさん



手芸クラブ：原田悦子先生からポケットティッシュ入れの作り方を学ぶIYさん



昔遊びクラブ：池田伸生先生から能代風の歴史を学び昔遊びを体験する（左から）ISさん・KKさん



華道クラブ：吉方香織先生からオアシスの作り方を学ぶMMさん



ようこそ！佐々木奈菜絵先生

紹介の会で子どもたちに語りかける
佐々木奈菜絵先生

学校報「あさない」No.7でもお知らせしたとおり、6月7日から養護教諭：佐々木奈菜絵先生が本校の子どもたちの健康を守ってくださっています。佐々木先生は、保健室来室の児童がいないときには休み時間の様子を見守ったり、子どもの目線にたって話を聞いたりして、子どもたちとの関わりを大事にしてくださる先生です。夏休み前までの期間、月曜～木曜まで本校勤務、金曜日は四小勤務となります。両校のよいところを紹介しながら、南中学区の交流をより深めるための橋渡しとなる存在です。短い期間ですが、皆様どうぞよろしくお願いたします。

